

中長期環境目標

「環境ビジョン2050」に掲げた3分野における「新光電気グループが目指す姿」を実現するために、新光電気グループ（国内）は中長期環境目標（2030年度、2050年度）を策定し活動しています。



気候変動

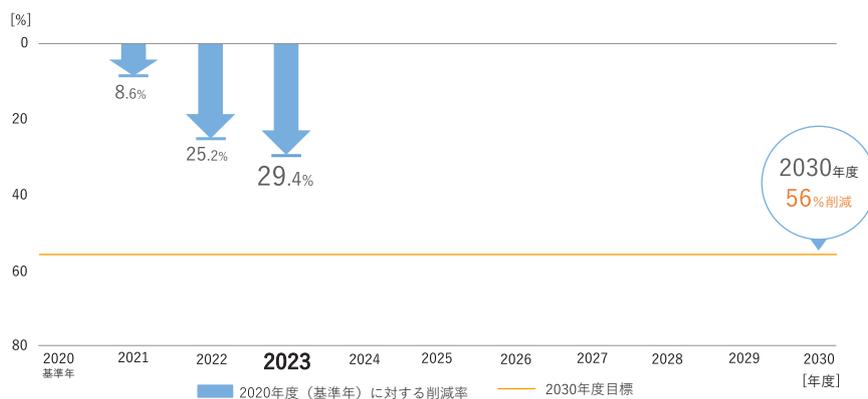
目標

	2030年度	2050年度
温室効果ガス実質排出量	56%削減 (2020年度比)	実質排出量 ゼロ
再生可能エネルギー使用	使用率 100%	使用率 100%維持

対象：新光電気グループ（国内）

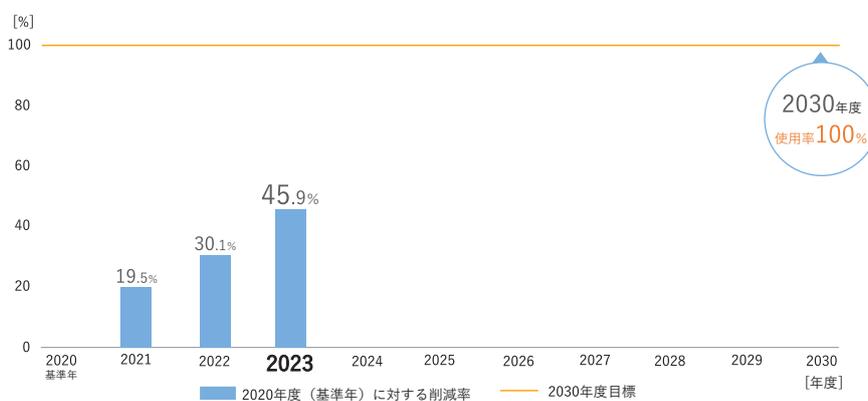
進捗状況

温室効果ガス実質排出量削減率



(注) 温室効果ガス実質排出量：2021年度 Scope1（エネルギー起源）+ Scope2（ロケーション基準）
2022年度以降 Scope1 + Scope2（マーケット基準）

再生可能エネルギー使用率



活動内容は「気候変動」(P33) 参照



資源循環

目標

	2030年度	2050年度
廃棄物	基準年度(2020年度)排出量の 50% 相当分削減	最小化
水使用量	基準年度(2020年度)使用量の 5% 相当分削減	最小化

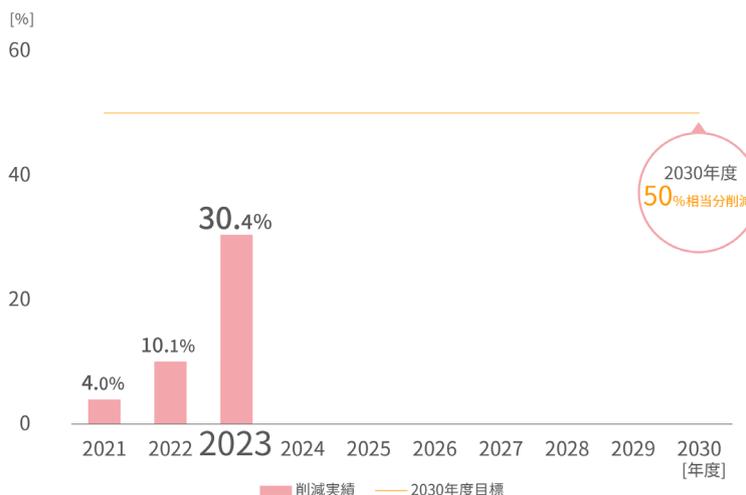
対象：新光電気グループ（国内）

※2030年度目標数値

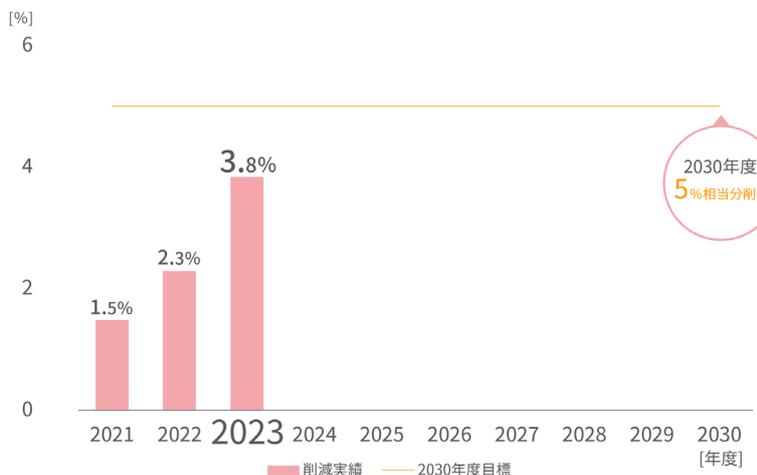
- ・廃棄物目標は、基準年度である2020年度排出量の50%相当分の廃棄物量を削減する目標
- ・水使用量目標は、基準年度である2020年度使用量の5%相当分の水使用量を削減する目標

進捗状況

廃棄物削減



水使用量削減



活動内容は「資源循環」(P40) 参照



自然共生

目標

	2030年度	2050年度
地域社会	地域社会と連携した生物多様性保全活動の継続による貢献	地域社会と連携した生物多様性保全活動の継続による貢献
社内緑地	栗田総合センターの生態系を健全に保全する	栗田総合センターを含む各工場の生態系を健全に保全する
社員	社員一人ひとりの生物多様性に対する意識の向上をはかる	社員一人ひとりの生物多様性に対する意識の向上をはかる

対象：新光電気グループ（国内）

進捗状況

	2030年度目標	指 標	単年度 目 標	実績		
				2021年度	2022年度	2023年度
地域社会	地域社会と連携した生物多様性保全活動の継続による貢献	森林保全活動	2回/年	2回	2回	2回
社内緑地	栗田総合センターの生態系を健全に保全する	自然環境調査	調査	○	○	○
		指標選定 (2021年度)	選定	○	—	—
		効果測定 (2022年度～)	測定	—	○	○
社員	社員一人ひとりの生物多様性に対する意識の向上をはかる	環境教育	3回/年	3回	3回	3回
		啓発活動	2回/年	3回	2回	2回

活動内容は「自然共生」(P47) 参照